

令和5年度地域協議会合同会議（事前質問・回答一覧表）

資料1【令和5年度当初予算の概要について】

No.	資料 ページ	委員からの意見	委員名	担当課からの回答	担当課
1	17	小高区内に2ヶ所の産業団地が新設されることから、小高スマートインターチェンジはいつ頃完成し、利用されるのか。 今後のインターチェンジについての日程・完成年月日等をお知らせ願います。	小高区 末 芳治 委員	令和4年度までに、用地測量、物件調査、不動産鑑定等を行い、用地補償費の算定等を実施してまいりました。 令和5年度からは、地権者の同意が得られたところから、順次、用地取得、物件補償の契約を進めていく予定です。なお、物件補償においては、大型の補償案件もあるため、建物等の移転に一定程度の期間を要するものと考えております。 工事開始時期については、用地取得、物件補償の完了後、速やかに工事着手できるように、現在ネクスコと調整をしている状況です。したがって、供用目標時期につきましては、用地取得、物件補償の見通しが立ってから、小高スマートインターチェンジ地区協議会の承認を経て公表することで進めており、令和5年度中には供用目標時期を公表すべく、事業進捗を図ってまいります。	土木課
2	11	【市民プール更新事業】 市民の健康増進と利便性とあるが、立地する場所と健康増進への世代間を通しての取り組み方を知りたい。	鹿島区 草野 繁春 委員	市民プールの立地場所につきましては、南相馬市スポーツセンターの北側(旧屋外市民プール跡地)であり、令和6年4月の供用開始に向けて、建設中であります。 また、世代間を通じた健康増進の取組につきましては、水中エクササイズやアクアウォーク等、水中でできる健康づくり教室等の実施により市民の健康づくりの推進に努めてまいりたいと考えております。	スポーツ推進課
3	19	【新たな産業団地の整備(雇用の場の創出】 鹿島区においても人口減少は、想定以上に進んでおり、企業立地は地域振興に重要な要素だと思うが、今後(何年後かに)区への産業団地整備の考えはあるのか。	鹿島区 草野 繁春 委員	現時点において、現在進行している原町区下太田、小高区飯崎、小高区川原田への計画以外に、新たな産業団地を造成する計画はございませんが、国や県が実施する企業への支援制度の動向や、事業用地の需要を見極めながら、新たな産業団地の必要性について、引き続き検討するとともに、産業用地の適地の情報を収集し、企業の誘致に備えていきたいと考えております。	商工労政課
4	7	【小中学校への各種支援員の配置】 「小中学校への各種支援員の配置」に多くの予算を確保した取り組みは良いと思います。 では、その成果と今後の課題を具体的に説明してください。	原町区 平間 勝成 委員	各種支援員配置の成果 本市においても教職員の業務の多忙化が見られており、こうした中で各種支援員の配置が指導面でのサポートや業務の負担軽減に役立っており、授業の準備時間や一人一人の児童生徒にしっかりと向き合う時間の確保につながっております。 各種支援員配置の課題 個別最適化された学びの必要性が高まっていることや、本市において発達に課題を抱える児童生徒が増加していることから、支援員等の配置を通して、よりきめ細かな支援の充実を図る必要性があると考えております。	学校教育課

資料2【南相馬市立病院理念について】

No.	資料 ページ	委員からの意見	委員名	担当課からの回答	担当課
1	1	なぜ見直すのか。 平成18年に策定した理念と今回見直す(理念・目標)の違いの概要を説明してほしい。	鹿島区 草野 繁春 委員	現行の病院理念を見直すことになった経緯としては、1つに、地域の医療を取り巻く環境の変化が挙げられます。震災以降、医師確保が困難となり、医療提供体制に変化が生じるなど、当地域の医療環境は大きく変わりました。 2つには、病院の果たす役割の変化が挙げられます。今般の新型コロナウイルス感染症への対応においては、全国的に公立病院が中核的な役割を果たしており、相双地域においても南相馬市立総合病院が陽性患者の入院受入れなどの重要な役割を果たしております。 このように、時代や医療環境に見合った病院理念とするため、見直しに取り組んだものです。	総合病院総務課

【その他】

No.	資料 ページ	委員からの意見	委員名	担当課からの回答	担当課
		資料1、2に対して特にありません。 要望として、高卒・大卒の方々が地元に残らない、戻らない現状を把握して対策をしてほしい。 地元での就職となれば、結婚問題、少子化問題は少し良くなるのではないかと思っています。 よろしくお願いします。	小高区 西山 喜代子 委員	貴重なご意見として、今後の業務の参考とさせていただきます。	こども家庭課